

豊岡市立玄武洞公園の全面開園と今後の対応

～崩落発生から全面開園までの経過と今後の対応～

玄武洞左上部斜面の一部崩落を受け、無料エリアまで立入可能としていた玄武洞公園について、5月2日（土）から玄武洞基壇の端部付近に防護柵を設置することで安全対策を講じ開園する。

1 玄武洞の崩落

発生日時：2026年3月20日（金）午後5時15分頃

発生場所：豊岡市立玄武洞公園 玄武洞左上部斜面

「崩落前」



「崩落後」



2 経過と全面開園にかかる当面の対応

3月20日 玄武洞左上部斜面一部崩落

3月21日～全面臨時休園

4月4日 ～立入り可能エリア拡大（無料エリアまで入園可能）

4月10日 「崩落跡地に残る不安定そうな浮石を除去すれば、簡易立入り防護柵を設置しての通行が可能」との見解が示される

4月下旬 残石・浮石撤去作業を実施

崩落した玄武洞基壇付近に防護柵を設置

※天候の影響により順延あり

3 開園について

(1) 取り扱い

全面開園（一部観覧エリア制限あり）

(2) 開園日

2026年5月2日（土）から

(3) 開園場所

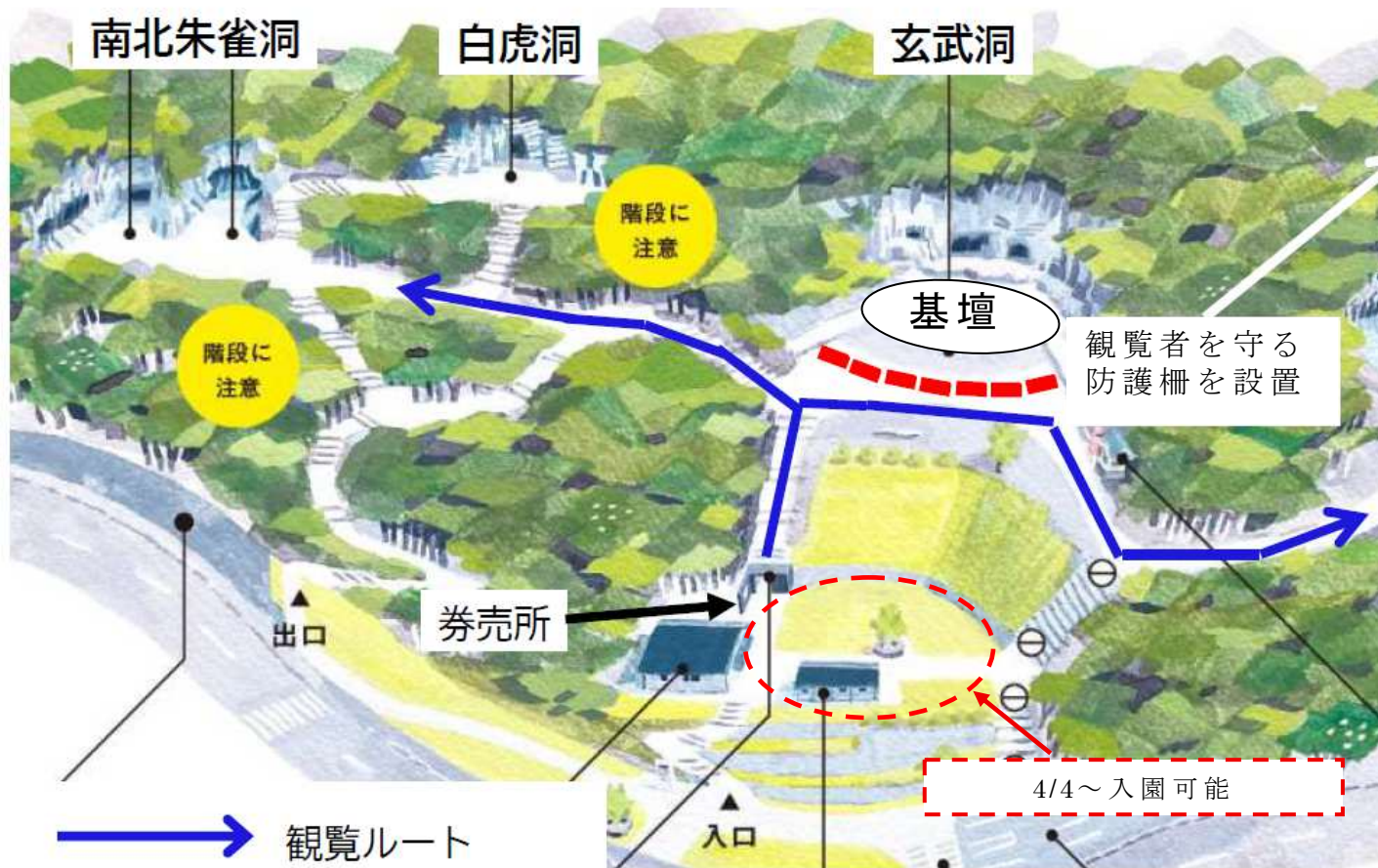
別紙参照

4 今後の対応

本格的な対策は、現在実施している「玄武洞公園落石対策詳細設計業務」で行う専門家による調査等を踏まえ、検討する。

〔問合せ〕 豊岡市産業経済部観光政策課 TEL0796-21-9016(直通)
担当 沖中、大柳(内線 2324、2323)

全面開園時のイメージ（5月2日～予定）



システムカディ・ウォーターを設置



使用例

システムカディ・ウォーターとは

大きさ：幅1500×高さ800/個
 本体重量：30Kg～35Kg（満水時260kg～290Kg）

- ・道路の工事現場や終点部などで使用されるポリエチレン製の防護柵
- ・機能性・多様性・緩衝性・耐久性に優れ、リサイクル可能な環境にも優しい製品
- ・内部に水を充填することで強度を増し、50Kgの鉄球を振り子状に衝突させる実験でH鋼ガードレールと同等の強度・安定性が実証されている